

The company hoped [that this movie, / along with others / like "Meet the
Robinsons," "American Dog," and Keane's "Rapunzel Unbraided," / would
return Disney to its past glory].
And restoring profit was as essential to Disney in those days / as regaining its
reputation.

内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. "Peter Pan" is a famous hand-drawn Disney animation. ()
2. It took Disney two and a half years to release their first computer-animated film. ()
3. Regaining its reputation was not so important as regaining profit for Disney. ()

覚えておきたい表現

関係代名詞 which の非制限用法

ℓ.1 : The results were nothing short of a cultural revolution at the studio, **which** is famous for the hand-drawn classics championed by its founder, Walt Disney, ... 「その結果とは、…その創設者であるウォルト・ディズニーによって擁護されてきた手描きの傑作で名高いスタジオにおける、文化的な革命にほかならなかった [その結果とは、スタジオにおける文化的な革命にほかならなかった。そのスタジオとは…]」
・関係代名詞 which は前にコンマを打って、先行詞を補足的に説明する節を導くことができる。

like ～ 「～のような」

ℓ.2 : the hand-drawn classics championed by its founder, Walt Disney, **like** "Snow White and the Seven Dwarfs" and "Peter Pan" 「『白雪姫』や『ピーターパン』など、その創設者であるウォルト・ディズニーによって擁護されてきた手描きの傑作」
・like ～ 「～のような」: 例を挙げる時などに使われる表現。

Ex. There were many kinds of tropical fruit, **like** mangos and durians. 「そこにはマンゴーやドリアンのようなさまざまな種類のトロピカルフルーツがあった。」

a lot more than ～ 「～よりもずっと多い (もの)」

ℓ.9 : There was **a lot more than** pride, however, riding on its success. 「しかし、誇りよりもっと多くの事情がその成功に乗っていた。」

・a lot more than ～ 「～よりもずっと多い (もの)」: 比較級 more をさらに強めるために a lot を比較級の前に置いた表現。この文は A lot more than pride was riding on its success. という文とほぼ同じ内容を表す。
Ex. The new building will be **a lot taller than** the original. 「新しい建物は、もともとのものよりもずっと高くなるだろう。」

・however 「しかしながら」: 文の途中で、逆接を表すために挿入することができる。また、文頭や文尾に置くこともできる。文中に置く時は、前後にカンマを置くのが普通。

as ～ as ... 「…と同じぐらい～」

ℓ.11 : And restoring profit was **as** essential to Disney in those days **as** regaining its reputation. 「当時のディズニーにとって、収益を回復させることは、その名声を取り戻すことと同様に、必要不可欠なことだったのである。」

・as ～ as ... 「…と同じぐらい～」: 2つのものの程度が同じぐらいであることを表す表現。ここでは、restoring profit と regaining its reputation とを比較していて、その2つが同じぐらい essential 「必要不可欠」だということを表している。

整理しよう! *段落要旨・構造*

- ① 改革 (= コンピュータ・アニメ制作への転換) がもたらした結果
・手書きで名高いスタジオにおける文化的な革命だった。
- ② 最初のコンピュータ・アニメ映画『チキン・リトル』の公開
・会社は、新しいアニメ映画で再び栄光に輝きたいと思っている。
- ③ 新しいコンピュータ・アニメ映画に会社が期待するもの
◆ ℓ.9 **however** 「しかし: 逆接」
・誇りよりもっと多くの事情が新しい映画の成功にかかっていた。
→ 会社の名声を取り戻すだけでなく、収益の回復が期待されている。

背景知識

●ディズニー型の収益構造

ウォルト・ディズニーは、さまざまな商品にミッキー・マウスなどの図柄の使用を許諾しロイヤリティを得る、というキャラクタービジネスを1930年代から展開させていた。このように、ディズニーは初期段階から映画のみに頼らない収益構造を持っていた。しかし、1955年のディズニーランド開園以降、ディズニーの経営戦略は映画ビジネスやキャラクタービジネス、テーマパークの3事業に渡り、それらが統合されて得られる典型的なシナジー効果 (2つ以上の事業などを適切に結合することによって生まれる相乗効果) を作り出した。

その効果としては、アニメ映画のヒットによってその観客が映画のキャラクターが登場するテーマパークに足を運び、さらにそこで販売されるキャラクター商品を購入していくと見込める。逆にテーマパークに訪問しキャラクター商品を購入した客の場合は、ディズニーに対する愛着をそこで強め、今度はディズニー映画のファン層になっていくという効果がある。

しかし他方で、この収益構造はテーマパークで親が子供にお金を与えて、子供向け関連商品購入に金を使わせるという、行き過ぎた消費者戦略として非難されることもある。

【深めたい人に】: アラン・プライマン著、能登路雅子監訳、森岡洋二訳『ディズニー化する社会』(明石書店、2008年)、有馬哲夫『ディズニー「夢の工場」物語』(日本経済新聞社、2003年)